

草した電車部規約草案及統制案に就いて論議し、字句の修正程度に於て草案を承認し、各支部役員改選後新部會により大會を準備することとして閉會した。

然して新役員による部會は十月六日開催せられ、懇談會にて決定した規約、統制方針を決し、部大會に換る擴大部會を十二日午後六時より神田松本亭に於て開催し全支部代表者五十三名出席、重要な諸案多數を可決新役員を選出し電車部は此處に確立し、全支部共定期大會に参加することとして散會したのである。

依つて統一問題に關する最後の締めくくりをすべく十四日統一懇談會は開かれたのである。懇談會に於ては電車部確立の報告後財政問題と、三田、早稻田支部の和協問題に就いて懇談し、滯納本部費の納入問題について自動車部と本部委員との間に意見の相違を來し、論議せしもまことに自動車部に於て十七日部會を開き態度を決定の上更に協議を進めるとして散會した。しかして十九日懇談會は開催されしも自動車部會に於ては、滯納本部費は納入する要なきも大會開催に對する經費等の名目により一部を納入するは差支なしとの決議が報告され懇談數回に及びしも兩者一致せず遂に決議の止むなきに至つたのである。

斯かる事態に對しては東交全體が非常に遺憾とする所であるが、確立日尚浅き電車部は其の内部的情勢より常任委員會を開き、更に擴大部會を二十二日開催し東交統一のため自動車部に對して代表者を擧げて考慮を求めることがなり、二十

三日代表者は自動車部常任委員と會見し、東交強化のため手

を連ねて行きたいと述べ、會費問題等についても意見を交換した結果自動車部に誠意あることを認め、支部長會議を開いて報告協議し電車部は當日開催の中央委員會に大會の延期を提案することが決定した。

しかして二十三日の中央委員會には一般經過報告後電車部より以上の自動車部接渉の經過と大會延期の提案がなされ、非飛行部も中途部會を開いて協議の結果電車部提案を是認し本部統一委員によつて明日自動車部代表と會見すること、大會に對する一切を本部に任することに中央委員會は決定し二十四日本部委員は電車部委員と共に自動車部代表と會見接渉の結果、双方の和協成り定期大會を一週間延期して開催すること、し愈々東交統一は此處に完成されるに至つたのだ。

斯くて臨時大會後約五ヶ月に渡る組合統一への大業の要望

は此處に實現され、全從業員を打つて一丸とする東交統一の意義ある大會は此處に開催されるに至つたのである。

一、専門部長決定

本部は大會後六月十六日開催の第一回執行委員會に於て、各専門部長を左の如く決定し陣容を確立した。

（イ）電氣局第二更生案計畫

電氣局は不景氣の重壓、路面電車の行詰り、金融資本家奉仕の經營の結果よりする財政の破綻を切り抜けべく、昭和四年以來從業員に下した彈壓は數々の出来事の結果赤字公債の發行によつて、漸く其の辻褄を合せたのである。然し乍ら此の六百五十萬圓の赤字公債は、市會に於てこれ以上の赤字公債は、發行せざることを條件として許可されたのである。従つて本年度赤字公債の發行は不可能な状態に置かれてゐる。

斯かる結果電氣局の赤字對策は必然に又經營費の切り詰めによる人件費削減が、其の対象として來ることは當然の歸結である。

斯くて電氣局は第二の更生案による從業員の彈壓を秘密に計畫してゐるのである。

（ロ）局長と會見

本部は此の第二の更生案に對して六月二十二日局長と會見し、本年度の赤字に對して電氣局は如何なる方策をとるか。第二の更生案により從業員を彈壓するのではないかと質問した。此の質問に對して局長は第二の更生案によつて從業員を彈壓する様なことは今日考へてゐない。しかしそう云ふことを局長が公言することは他の方面（市）に對して非常に不味い結果になり、折角出来るることも出來ぬ様になるのでハツキリ言ふことは出來ない。しかし局長の氣持は買つて貰えないと云ふのである。

（ハ）調査委員會設置
局長は以上の如く本年度第二更生案によつて從業員を彈壓する様なことは今は考へてゐないと云ふのであるが、然し乍ら此の局長の言葉だけによつて第二の更生案による彈壓がな

千數百名の職員の犠牲に於て更生案をテッチ上げ云々掛けるの中に、全從業員の犠牲に於て更生案をテッチ上げせんとしてゐるのだ。昨年度は電氣局百年の大計を樹てると